

## 【薬局向け】活用例

# 薬剤情報を踏まえて類似薬効の重複投薬を回避した事例

情報提供元：なの花薬局下里見店 / 群馬県

年齢 70歳代

性別 女性

診療科 内科

介入項目 薬剤変更

### 事例詳細

改善要因 過去の薬剤情報を確認

#### 経緯

- ビルダグリプチン（DPP-4阻害薬）を服用している患者より、マイナンバーカードによる受付で同意を得たため薬剤情報を確認したところ、他院（院内処方）において、今回処方されたビルダグリプチン（DPP-4阻害薬）と同じDPP-4阻害薬であるシタグリプチンリン酸塩水和物（シタグリプチン）が処方されていたことを確認した。
- 患者へ確認したところ、「他の医療機関で薬をもらっていたが、同じような薬だとは思っておらず、病院にも薬局にも併用薬を伝えていなかった」との回答を得た。
- また、患者が保有していた検査記録から前月の空腹時血糖値を確認したところ、122mg/dLと基準値を超えていた。
- 上記について、処方医に情報提供を行い、シタグリプチンを継続した上で、ビルダグリプチンをルセオグリフロジン水和物（SGLT-2阻害薬）に変更することとなった。
- 薬剤変更後に空腹時血糖値を確認したところ105mg/dLであり、HbA1cは6.9%であった。その後も継続的に経過を確認している。

マイナンバーカードを活用した過去情報閲覧により、  
類似薬効の重複投薬を回避し、効果的な薬物治療に繋げることができた